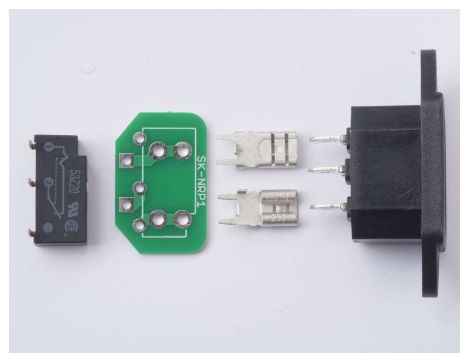


サーキットブレーカ基板(SK_NRP1)取扱説明書

この度はサーキットブレーカ基板 SK_NRP1 (図 1) をお買い求め戴き、まことにありがとうございます。

SK_NRP1 は AC インレットの背部に取り付けるサーキットブレーカセットです。サーキットブレーカには、IDEC NRPF-10 (1A、2A)を使用しています。ヒューズと比べ、劣化による突入電流での誤動作(遮断)がなく、正確に電流値によって遮断します。音的にもヒューズと比べ、芯のあるクッキリとした音像となります。正しく組み立ていただき、末永くお使いください。



組み立て

図 2 に示すように、段ボール紙の上に基板を置き、ピンを突き刺して、AC インレットを載せた状態でハンダ付けします (AC インレットを完全に挿入するとピンが暖まりにくくなり、ハンダ付けし難くなります)。基板を裏返してピンをハンダ付けし、余分なピンを切り取ったあと、サーキットブレーカをハンダ付けします。

図 1 SK_NRP1 セット

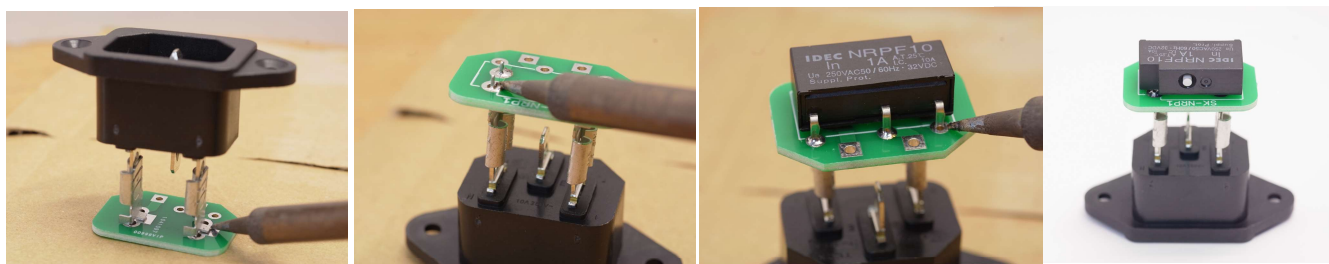


図 2 組み立て方

IDEC NRPF-10 は熱動引外し方式 (バイメタル式) です。ヒューズのように突入電流などによる劣化で生じる誤動作 (遮断) がありません。周囲温度 25°Cにおいて、定格電流の 100%を超えたときにトリップします。定格電流の 300%では 1~3 秒くらい、1000%では 0.1~0.2 秒くらいでトリップしますので、突入電流の大きなマルチトランス方式も定常時の消費電流から定格電流を決定すればよいでしょう。

ただし、周囲温度によって定格電流は低下します。40°Cでは約 85%に、50°Cでは約 75%となります。1A タイプは最大時消費電流 0.75 A 以下の機器 (半導体 B 級ステレオアンプでは最大出力 28 W+28 W 以下くらい) で、2A タイプは最大時消費電流 1.5 A 以下の機器 (最大出力 55 W + 55 W 以下くらい) でご使用ください。これより大きな出力では、3 A あるいはそれ以上の NRPF-10 サーキットブレーカをご使用ください。

仕様(NRPF-10)

定格電圧 AC 250 V
定格電流 1A または 2 A
使用周囲温度 -10°C~+50°C

製造元
T.B.Sound
<https://tbsound.biz/>
e-mail: tbsound323@gmail.com

発売元

海神無線株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-10-11
東京ラジオデパート 2F
TEL 03-3251-0025 FAX 03-3256-3328
<http://www.kaijin-musen.jp/>